

石川県内の自転車指導啓発重点地区・路線一覧



1 選定総数

	選定数	総延長距離(m)
地区	7	—
路線	26	42,270

2 選定状況

令和5年8月1日現在

署 No	地区 路線	地区又は 路線の名称	路線区間	延長距離 (m) <概数>	選定理由
金沢中 - 1	路線	金沢市道	長町1丁目交差点～ 香林坊交差点	600	通勤・通学の自転車が多い。
金沢中 - 2	路線	主要地方道 金沢小松線	もりの里三丁目交差点～ もりの里一丁目南交差点	1,150	通勤・通学の自転車が多い。
金沢中 - 3	路線	国道157号	野町広小路交差点～ 有松交差点	1,550	通勤・通学の自転車が多い。 交差点の通行車両や事業所等への出入り車両 も多く、自転車との交通事故が懸念される。
金沢中 - 4	路線	金沢停車場南線、 国道157号	増泉三丁目交差点～ 横川南交差点	2,000	通勤・通学の自転車が多い。 交差点の通行車両や事業所等への出入り車両 も多く、自転車との交通事故が懸念される。
金沢中 - 5	地区	有松・久安 地区	—	—	自転車通学の高校生・大学生が多く、普通自 転車専用通行帯が整備されている。
金沢東 - 1	路線	県道 東金沢停車場線	JR東金沢駅～ 小坂町交差点	670	自転車の通行量が多く、普通自転車専用通行 帯が整備されている。
金沢東 - 2	地区	玉川・芳齊・ 長土塀・長町地区	—	—	小学校の移転や子ども図書館等が新設され道 路交通環境が変化した上、歩行児童や自転車通 学の高校生が多く行き交う。
金沢西 - 1	路線	主要地方道 金沢港線	中央市場前交差点～ 西警察署前交差点	3,800	通勤通学の自転車が多い。さらに、幹線道路 であり、事業所等への出入り車両が多く、交通 事故の発生が懸念される。
金沢西 - 2	路線	主要地方道 金沢・田鶴浜線	駅西本町1丁目交差点～ 県庁北口交差点	2,000	通勤通学時間帯は、JR金沢駅から県庁等があ る駅西地区へ向かう自転車及び歩行者が多い。
金沢西 - 3	路線	市道(2級幹線359号 西部中央通り線)	県庁北口交差点～ 県立金沢西高校前	700	通勤通学時間帯は、駅西地区へ向かう自転車 及び歩行者が多い。
大聖寺 - 1	路線	県道 大聖寺停車場線	大聖寺駅前～ 大聖寺南町交差点	240	通勤通学時間帯は自転車利用者が集中する。
大聖寺 - 2	路線	加賀市道 A3号線	大聖寺駅前交差点～ 大聖寺東町交差点	760	自転車通学の高校生が多い。 車道に自転車走行指導帯が表示され、啓発路 線として取組を行っている。
大聖寺 - 3	路線	国道305号	大聖寺菅生交差点～ 大聖寺南町交差点	800	自転車通学の高校生が多い。
大聖寺 - 4	路線	主要地方道 小松山中線	山代東口交差点～ 山代中学校	1,200	歩道、路側帯が狭い上、自転車通学の中学生 が通行する。
小松 - 1	地区	小松駅周辺	—	—	自転車通勤車等が集中する。
小松 - 2	路線	国道360号	城南町西交差点～ 軽海西交差点	6,500	高校の通学路であり、自転車の歩道通行が多 い。
小松 - 3	路線	小松市道	沖町交差点～ 市立高校前交差点	3,500	高校の通学路であり、自転車の指導要望が多 い。

能美-1	路線	県道 根上寺井線	五間堂交差点～ 緑町交差点	700	通勤通学路線であり、車や自転車の交通量が多い。
能美-2	路線	県道 寺井停車場線	JR能美根上駅前～ 大成東交差点	650	駅に通じる路線であり、通勤通学時間帯は交通量が多い路線である。
白山-1	路線	主要地方道 松任・宇ノ気線	徳丸南交差点～ 三浦南交差点 (白山市)	1,400	通学時間帯の自転車がが多く、高校生に対する自転車ルール・マナーの指導啓発に取り組んでいる。
白山-2	路線	野々市市道 堀内上林線	堀内北交差点～ 下林西交差点 (野々市市)	1,200	市民体育館や高校があり、車や自転車の通行量が多く、高校生に対する自転車ルール・マナーの指導啓発に取り組んでいる。
白山-3	地区	白山市 月橋町地区	—	—	病院、体育館や高校があり、車や自転車の通行量が多く、高校生に対する自転車ルール・マナーの指導啓発に取り組んでいる。
津幡-1	路線	県道中尾津幡線、 県道川尻津幡線	浅田交差点～ 井上の荘交差点 (津幡町)	2,300	自転車通学の生徒が多数往来し、交通事故発生の危険性、住民からの自転車交通マナー改善の意見等が寄せられている。
津幡-2	地区	かほく市 宇野気地区	—	—	駅や中学校があり、通勤・通学の自転車が 多い。路線指定は複雑となるため地区として選定
津幡-3	地区	内灘町 南部地区	—	—	通学時間帯は駅からの自転車が 多い。また交通事故の発生も多いため、内灘駅を中心に半径1kmの地区を選定
羽咋-1	路線	一般県道若部・千里 浜インター線及び市 道羽咋286号線	中央町南交差点～ 太田町東交差点	3,200	自転車関連事故の発生状況や、自転車の通行量、自転車通行空間の整備状況、自治体等の自主的な活動状況等を踏まえ選定
七尾-1	路線	国道249号	小丸山公園下交差点～ 袖ヶ江交差点 (七尾市)	750	学生や高齢者等の多くの市民が利用する駅、高校、大型ショッピングセンターがあり、自転車の通行量も多い。
七尾-2	路線	県道 城山線	藤野町北交差点～ 城山交差点 (七尾市)	1,200	藤野北交差点から城山方向へ向かう県道城山線が開通し、自転車を利用する小・中学・高校生の通学路や交通流が変化している。
輪島-1	路線	輪島市道	門前町清水3-11-1～ 門前町勝田わ部1 (輪島市)	1,300	中学校の通学路であり、自転車の通行量も多い。
輪島-2	路線	主要地方道 七尾輪島線	輪島市山岸町～ 輪島市河井町 (輪島市)	1,600	歩道幅が狭く、重大交通事故の発生が懸念される。
輪島-3	路線	国道249号	輪島市平成町～ 輪島市河井町 (輪島市)	1,800	歩道幅が狭く、重大交通事故の発生が懸念される。
珠洲-1	地区	能登町 宇出津	—	—	小・中・高校、病院等があり、歩行者や自転車、車の交通量が管内で一番多い。
珠洲-2	路線	珠洲道路 (市道56号線)	栄町北交差点～ 緑丘中学校前交差点 (珠洲市)	700	中学・高校の通学路であり、付近に病院もあることから、高齢者自転車、高齢歩行者の通行も多い上、基幹道路のため大型車両等の通行も多い。